

2022年3月31日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

「カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合」への出資 ～日本の脱炭素社会の実現に向けたインパクトファイナンス～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、Zエナジー株式会社（東京都千代田区、社長 安岡 克己）が運営する「カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）へ出資することを決定しました。

本ファンドは、再生可能エネルギー発電事業に投資することによる経済的リターンの獲得と同時に、CO2総排出量削減に対する社会的インパクトを創出することにより、再生可能エネルギーの普及・拡大、ならびに日本の脱炭素社会の実現に向けた貢献を目的としています。

なお、本ファンドは、環境省の「2021年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業」における国内初の「モデル性を有するインパクト・ファイナンス事例（インパクト特定型）」として選定されています。

<本ファンドの概要>

名称	カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合
設立年月	2021年12月
運営会社	Zエナジー株式会社
投資対象	日本国内における再生可能エネルギー発電事業

大同生命は、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいりました。

資産運用においては、「責任投資原則（PRI）」の考え方や、国連が提唱した持続可能な開発目標である「SDGs」などを踏まえ、環境・社会・企業統治の課題を考慮する「ESG投資」に積極的に取り組んでいます。社会的課題の解決に資する本ファンドへの投資は、こうした取組みの一つです。

引き続き、責任ある投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成に貢献できるよう努めてまいります。

以上